事 業 報 告 用

令和5年度

事業報告書

認定特定非営利活動法人 全国盲導犬施設連合会

1 事業の成果

「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念に、全国の盲導犬訓練法人施設の連合体として、視覚障害者が盲導犬を使用し自立と社会参加を図れるよう、広く盲導犬の普及啓発、相談、盲導犬無償貸与への助成を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【57,620】千円)

| 定款に記載された 事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者 人数 | 受益 対象者 範囲 | 受対者 人数 人数 | 事業費 (千円) |
|-----------------|---|----------------------------------|--|-----------|---|-----------------------|----------|
| | ・デュエット 15 万部、ポスター6 千枚を作成配布、 店舗等に補助犬同伴可入 デッカーを配布した。 | 4月1日~ 3月31日 | ・募金箱設置 店 ・公共施設等 | 職員5名 | ・視覚障害者 ・全国の市 民、企業や団 休等 | 約31 万人 | |
| | ・墨字版·点字版·CD 版 の盲導犬情報を作成·配 | 9月、3月 | • 盲導犬使用者、点字図書 | 職員2名 | 体等 • 視覚障害者 | 約 31 万人 | |
| 普及啓発事業 | 布した。 ・盲導犬ふれあいイベントの開催(49回) ・寄附・募金箱設置協力企業へ、良い機会を捉えて感謝状を贈呈・郵送した。 | 4月1日~ 3月31日 4月1日~ 3月31日 | 館行政機関等 ・全国のスーパー 店頭等 ・寄附・募金箱 設置協力企業 | 職員2名職員5名 | ・全国の 全国用の のする では では では では では では では では では では | 約9百人 | |
| | ・連合会別が 加盲導犬加 いが -を作成・配布し、 盲導犬事業への理解と 支援、普及に努めた。 | 9月~3月 | • 寄附者、関 係各所 | 職員5名 | ・全国の盲導 大使用者 ・寄附者・募 金箱設置協力 企業 | 約9百人 | 14,206 |
| | ・等身大盲導犬募金箱 について、62 台の新規 導入、14 台の修理入替 を行った。 | 4月1日~ 3月31日 | • 全国のスーパー 店頭等 | 職員2名 | 正来 ・全国の盲導 ・全国の市 ・全国の市 民、企業や団 体等 | 約9百人 | |
| | • DUET サポ-タ-向けの活動報告書「DUET サポ-タ-通信 VOL.4」を 400 部発行、サポ-タ-会員及び支援企業へ配布 した。 | 6月1日~ 3月31日 | • 州° -9-会 員、寄附·募 金箱設置協力 企業 | 職員2名 | ・全国の盲導 大使用者 ・寄附者 | 約9百人 | |
| | 公式 Facebook、公式 X を開設した。 パトラッシュ基金リーフレット 5 千部を刷新・配布した。 | 6月、3月 4月1日~ 3月31日 | • パトラッシュ募金 箱設置店 | 職員2名職員2名 | ・全国の盲導 犬使用者 ・視覚障害者 | 約9 百人 約31 万人 | |
| 相談事業 | ・盲導犬貸与希望、入 店拒否、使用者相談、 事業者·市民相談など 135件を受付対応し、 具体的な解決を図っ た。 | 4月1日~ 3月31日 | •事務局相談 室 | 職員5名 | ・視覚障害者 ・全国の市 民、企業、団 体等 | 約31万人 | 515 |

| | ・市民からの盲導犬ユーザーなどへのクレーム通報について、苦情解決対応フローチャートに沿って各施設と連携して解決に努めた。 | 4月1日~ 3月31日 | •事務局相談室 | 職員5名 | ・全国の富導 大使用第一 ・視覚師の市 ・全国の業団体 行政等 | 約9百 人 約31 万人 | |
|---------------|--|--|--|---------------------------|---|---|--------|
| 資格認定 事業 | ・盲導犬育成の担い手である訓練施設職員を対象に資格認定審査会を開催し、盲導犬歩行指導員3名、盲導犬訓練士4名の計7名を資格認定した。 | 3月7日 | として学科・か 対ソによる実技 審査と面接を 実施 | 職員3名9名9人 | •盲導犬育成訓練施設職員 (受験者 10名) | 10名 | 728 |
| 職員養成後事業 | ・資対では、 | 9月26~ 27日 11月10日 2月27日 ①7月21日 ~22日 ②9月26~ 27日 ~8日 ~8月29日 ~8月21日 ~8月21日 (68月24日 (711月10日 | よびオンライン ①中部 | 職員2名 職員2名 | 盲導学育成計算請導施設職員資導大育政務計練施設職員 | 10 ① ① ② 和② 和③ 和④ 和⑤ 和⑥ 和① 和② 13 12 11 12 13 16 17 | 1,199 |
| 使用者団 体相互協力事業 | ・全日本盲導犬使用者の会総会へサポート要員として近接施設職員、連合会職員派遣を行った。 | 5月27日~28日 | 戸山サンライズ | 職員2名 施設職員 6名 | ・全国の盲導 犬使用者 | 約9百人 | 82 |
| 情報交換のトワーク構築事業 | ・訓練施設と盲導犬育成 普及に向けた協議(運営 委員会)を 4 回開催 た。 ・日本盲人社会福施設 協議会 自立支援施設部 会盲導犬委員会の「令和 4(2022)年度盲導犬訓 練施設年次報告書」の製 本を行い、関係各所へ発 送を行った。 | 4月1日~ 3月31日 5月 | 事務局2回、 オンライン2回事務局 | 職員5名 施設職 8名 職員5名 | ・全国の者 で で で で で に で に で に に に に に に に に に に に に に | 約9百 | 1,177 |
| 財政基盤支援事業 | ・盲導犬育成訓練施設の 盲導犬無償貸与事業に かかる費用の一部助成・ 補助を8頭分行った。 ・フォローアップにかかる費用 の一部助成を609頭分 行った。 | 4月1日~ 3月31日 | • 盲導犬育成訓練施設 | 職員2名 | ・全国の盲導 犬使用者 | 約9百人 | 36,660 |
| 調査研究事業 | 今年度は行わなかった。 | なし | なし | なし | なし | なし | 53 |
| 国際交流事業 | ・「国際盲導犬連盟」の たナーへ各施設職員7名 への参加費・旅費等助 成及び共通経費の通訳 | 4月27日~30日 | • カナタ゛(バンク- バ-) | 職員1名 | • 盲導犬育成訓練施設職員 | 7名 | 3,000 |

| | 料について助成を行った。 | | | | | | |
|------|-------------------------------|----|----|----|----|----|---|
| 顕彰事業 | 今年度は行わなかった。 | なし | なし | なし | なし | なし | 0 |

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

| 定款に記 載 された 事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者 人数 | 事業費 (千円) |
|-------------------------|----------|----|----|-----------|----------|
| 盲導犬グ ッズ販売 事業 | 実施しなかった。 | なし | なし | なし | 0 |